

第13回新居浜市今後の学校の在り方に関する検討委員会概要

日時 令和2年12月14日（月）15：00～16：30
会場 新居浜市役所 5階 大会議室
出席者 小笠原忠彦委員外9人、事務局職員9人
傍聴者 なし

1 教育長あいさつ

今後の学校の在り方検討委員会で委員の皆さまには熱心に議論いただき、答申まで、あと少しのところとなりました。これまでの議論をさらに深めて、今後の新居浜市の学校の在り方について、本日も委員の皆さまから忌憚のないご意見をいただきますよう、よろしくお願いたします。

2 前回委員会での要望資料について

○次の資料について説明

- (1) 学校の統廃合の事例について
- (2) 小・中学校位置図・区域図
- (3) 空き教室の状況について
- (4) スクールバス導入事例

<意見>

○スクールバスを導入する場合、保護者負担という話も出てくるかもしれないが、そのあたりを市としてどうするのか、今後検討していく必要がある。

3 前回の検討事項まとめ

○次の事項について確認

- (1) 規模適正化の検討基準について
- (2) 地区ごとの小・中学校の規模適正化・適正配置の方向性について
- (3) 規模適正化・適正配置の検討に当たって留意すべき事項について
- (4) 将来に向けた全体スケジュールについて

<意見>

○一部の学校は人数的に既に適正化検討の対象となっているが、具体的に検討を始めるのは、基本計画が策定されて計画策定の時期になった段階でということか。

○小中一貫教育の導入について検討するということだが、小中一貫教育というのは具体的にどのようなものか。児童数が少ないままでも合併してやっていけるということか。

○小中一貫教育とはこのようなものだと具体的なものを示して、こういうメリットがあるからということを示して検討を進めていくべきである。

○小中一貫校はうまく行きづらいというような話も聞くので、慎重に検討すべきでは

ないか。

○小中一貫教育が導入できる学校と出来ない学校で、不公平感が出てくるのではないか。

4 新居浜市今後の学校の在り方検討委員会答申（案）について 答申（案）のたたき台について説明

<意見>

○若宮小学校が統合した後、良かったとか、するべきではなかったとか、何か意見を集約したものはあるのか。統合して良かったという声が多いのであれば、児童・生徒のためになるということを答申の中に盛り込めたらいいのではないか。

○スクールバスを導入することになると受益者負担という事が出てくるが、教育委員会が支援するという事も考えるべきではないか。同様に、中学生についても自転車通学の生徒に対する支援も考えるべきではないか。

○小規模校に配置される教員の負担が大きいのではないか。研修などは受けているのか。小さいクラスのところでは差が出ないようにしてほしい。

○小規模校の先生の負担が大きいのであれば、生徒の立場だけでなく、先生の立場においても今の状態は問題があるということを提起してもいいのではないか。

○校区の再編成はやむをえないと思うが、地域との関係があるので、どのようにコンタクトを取っていくのかということが大事なことである。